

2019年5月

現勢・生物—No.18

けんぱくものしりシート

カワシンジュガイ



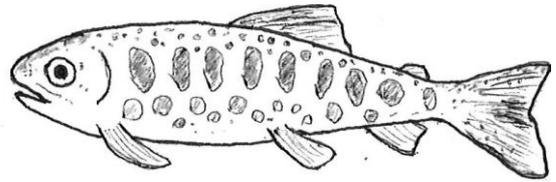
イシガイ目

カワシンジュガイ科

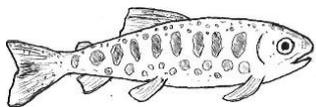
カワシンジュガイ属

カワシンジュガイ

ぼくは、岩手県岩泉町の安家川のヤマメだよ。安家川は水がとてもきれいで、ぼくたちヤマメをはじめ、たくさんの種類の魚やオシドリや、いろんな生きものたちのすみかなんだ。今日はこの川でいっしょにくらす、カワシンジュガイのことを紹介するよ。



カワシンジュガイは、細長いだ円形の堅い殻をもって、外側は黒と茶色だけど、内側は真珠のような色とつやがあるんだ。大人の貝は10cmから15cmぐらいの大きさになるよ。この細長い殻を川底に半分ぐらい埋めて、そこでずっとくらすしているんだ。右の写真は、その様子だよ。とても長生きで、100年以上生きる貝もいるらしいんだ。



実は、カワシンジュガイの赤ちゃんは、お母さん貝の中からでてくると、しばらくのあいだ、ぼくたちヤマメのえらにくっついて生活するんだ。0.5mm ぐらいの大きさになったらぼくたちからはなれて、川底の砂や小石の中にもぐってさらに成長するよ。ぼくたちが赤ちゃんをくっつけて運ぶから、安家川にはたくさんの貝が集まってくらすしている“コロニー”といわれるものがいくつもあるんだ。

ところで、昔の人

たちはこのカワシン

ジュガイをよく食べていたみ

たいで、岩手県内の遺跡からは殻がたくさんみつ

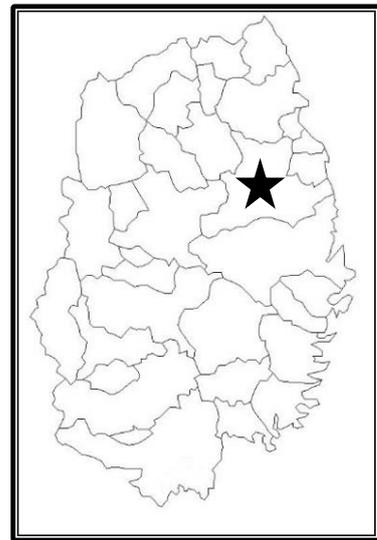
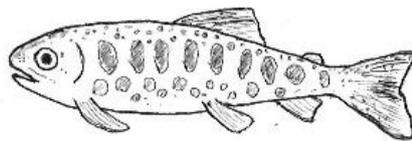
かっているよ。昔は、どこにでもいる貝だったん

だね。でも、今では、岩手県でもかぎられた川で

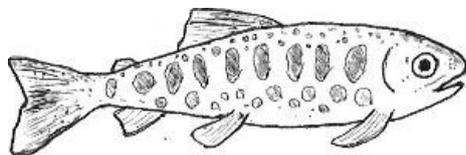
しか見られなくなってしまった。水がよごれたり、

川の工事や大きな洪水、台風などのためにすっか

り数が減って、絶滅が心配されているんだ。



いわてけんいわいずみちょう
岩手県岩泉町(★)



カワシンジュガイはぼくたちヤマメがいる

から子孫をふやせるように、カワシンジュガイ

がいるから子孫をふやせる魚もいるよ。タナゴ

の仲間はカワシンジュガイの殻の中に卵を産んで外敵から守ってもらうん

だ。こんなふうに、生きものはお互いかわりあっているから、もしカワシン

ジュガイが急にいなくなったら、住んでいる川も大きくかわってしまっ

たいへんなことになるかもしれない。そんなことが起きないように、カワシン

ジュガイのくらしを注意深く調査している人たちがいるんだよ。とてもたいへ

んな仕事だけど、今までわかっていなかった、新しい発見もあるんだって。

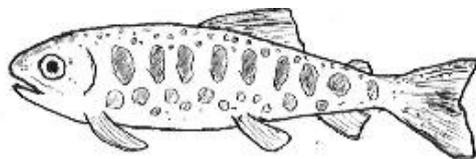
そうそう、博物館ではカワシンジュガイのものだといわれている小さな真珠を

展示しているよ。縄文時代の遺跡から見つかったんだけど、ちゃんと穴もあけ

られているんだ。この時代の真珠で穴があるの

は、これだけなんだって。《いわて文化史展示

室》にあるからぜひ行ってみてね！



参考にした本 『岩手県立博物館 研究報告24』 岩手県立博物館 2007年 他

来月(6月)の

けんぱくものしりシートは

体験学習室-18だよ！

おたのしみに！



モッチャン



岩手県立博物館

〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷34
Tel. 019-661-2831 Fax. 019-665-1214
<http://www2.pref.iwate.jp/~hp0910/>

※「けんぱくものしりシート」の内容は発行当時のものです。最新情報ではございませんので、あらかじめご了承ください。
※「けんぱくものしりシート」は解説員が執筆しております。